

介護老人保健施設おうみ

『歩きたい』 というご本人の意欲を大切にしています

施設長 小中 俊太郎



介護老人保健施設おうみは、平成19年に開設し、現在一般棟70床、ユニット棟30床の入所サービス（合計100床）の他、ショートステイ、通所リハビリテーション（デイケア）といった在宅サービスをおこなっております。今年で16年目を迎え、地域のご利用者様、関係者各位の皆様の支援の賜物と心より厚く御礼申し上げます。

「介護老人保健施設」は、介護が必要な方が自宅で自立して生活できるように、生活に即したリハビリを行い、病院と自宅の橋渡しをする「在宅復帰施設」の役割を担っています。その一方で「終末期の療養」「認知症」にも対応する施設でもあります。

『介護老人保健施設おうみ』では、医師による医学的管理では体調の変化の早期発見早期対応を、看護・介護部門では在宅復帰に向けた生活リハビリ、認知症、褥瘡の治療に積極的に取り組んでいます。また、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリテーションに特に力を入れており、利用者ごとに専属の専門スタッフがつき、一人ひとりの状態に合わせたプログラムを提供しています。自主トレーニングも取り入れ、病院と遜色ないリハビリ時間を確保し、在宅までのスムーズな移行を目指しています。『歩きたい』という希望にも向き合い、本人の意欲を大切にしています。

当施設のもうひとつの特長としては『有床診療所うしいけ内科クリニック』『こなか医院』の併設です。急に体調が悪化した場合でも入院での対応が可能です。改善後、介護老人保健施設に戻り、リハビリ療養を継続できます。また、在宅生活に戻る際は訪問看護や訪問ヘルパーなどのサービスも提供でき、『医療と介護のスムーズな連携』をとることが可能となっています。

高齢者の方が、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられように、質の高いチームサービスを提供できるように職員一同頑張ってまいります。



『介護老人保健施設おうみ』イベントを開催しました！

副施設長 遠藤 成宏

「コロナ感染拡大」に伴い、国ではワクチン接種の推奨や外出自粛を呼びかけていますが、経済活動への影響にも配慮しなければならないという観点から、感染者数も上昇・下降を繰り返し、コロナの終息が見通せない状況となっております。

おうみは介護老人保健施設として、多くの高齢者の皆様が安心した生活を送っていただけるよう、感染対策に取り組んでいます。幸いにも、これまで施設内での感染は発生していませんが、世の中の状況からいつ何時感染してもおかしくない状況です。

職員一同さらに気を引き締め、ご利用者様の安心とご家族の笑顔を保てるよう努力してまいります。

《七夕・お茶会を開催》

ご利用者様の素敵な笑顔をもたらすため、7月6日に職員が浴衣を着用し、各ユニットを回りお茶を振る舞いました。

僅かな時間ではありましたが、ご利用者様の笑顔を引き出すことができました。

9月14日には「おうみ祭」を実施予定で、お祭りの雰囲気を味わっていただきます。

やっぱり「笑顔」っていいですね！
すべての人が幸せでいられますように♡

